

京都総評事務局 年末年始の閉局期間  
12月29日～1月4日

京都総評 新春旗びらき  
1月5日 18:00 からすま京都ホテル



# 京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第 310 号

発行所  
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5 階  
京都地方労働組合総評議会（京都総評）  
電話 075（801）2308 FAX 075（812）4149  
E-mail sohyo@labor.or.jp URL <https://www.labor.or.jp/sohyo/>  
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 上野 広光

京都労働相談センター

電話 0120-378-060 E-mail [scent@labor.or.jp](mailto:scent@labor.or.jp)

**医労連**



## 京都民医連のストライキ

サウンドデモ、署名宣伝でアピール  
京都民医労はストライキ実施

京都医労連は仲間つくりなどを含めた「6つの職場で行うこと」を職場討議資料として提起。年末一時金を中心とした前進回答を求め、経営者にも要請を行いました。統一回答指定日翌日は産別統一行動として、京都市役所前から四条河原町までサウンドデモを実施、四条河原町で署名宣伝行動を行いました。

一方で、11月5日の統一回答日に回答提示を行わないところもあり、11月19日を最終回答期限として設定し、回答促進を進めるとも

に翌20日を  
第二次統一  
行動として  
位置付けま  
した。第二  
次統一行動  
に呼応し、  
京都民医労  
は40分間の  
全面ストラ  
イキを構  
え、京都総  
評や地区労協からの支援も受け、  
抗議集会や宣伝行動を行いました。



京都民医連のストライキ



## 京都民医連のストライキ

# ケア アクション

やりがいでだけではもう限界

**生活でできる賃金を**

医療労働者の賃金引上げをめざして、医労連や市職労病院支部など単産、単組、支部でストライキや交渉、宣伝行動など旺盛に取り組まれています。職場での要求運動とあわせて、門前での宣伝や署名行動で、社会的に訴えます。

医療労働者の賃金上げをめざして、医労連や市職労病院支部など単産、単組、支部でストライキや交渉、宣伝行動など旺盛に取り組まれています。職場での要求運動とあわせて、門前での宣伝や署名行動で、社会的に訴えます。

市職勞  
病院支部



京都市立病院門前での宣伝（11月26日）

一時金・基本給引き上げなしの見解に怒り  
院内集会、廊下デモ、緊急申し入れ

病院当局は一厳しい経営状況」を理由に、3年に渡り一時金の引上げを見送るとしています。職員の処遇改善に向けた努力が見えないなかで不信感が高まっています。交渉では、「採用3年目で、一時金はずっと上がらず、モチベーションが上がらない」「多くの仲間が退職した」「せめて年休が取得できて働きやすい職場にしてほしい」と参加

した執行委員が全員で訴えました。

要求に対して「ゼロ回答」の姿勢に、病院支部は、医労連の仲間とともに街頭宣伝に参加し、社会的に医療労働者の賃上げを求めて運動を展開。また新しい執行体制のもと、はじめに門前の早朝宣伝や、緊急集会から院内を局長室までデモ行進し、総勢50人で申し入れるなど、奮闘を続

## 分会活動で大切にしてきた4つのこと

福祉保育労働組合京都地本・亀岡福祉会分会



亀岡の障害福祉職場（職員数130人、利用者数150人）における分会活動を紹介します。

分会は福祉保育労働組合京都地本・亀岡福祉会分会として、2024年3月に6人で結成しました。

福祉保育労京都地本・亀岡福祉会分会結成から、  
交渉、仲間づくりなどの奮闘を続けています。福嶋  
義治分会長に聞きました。

議長による学習プログラムは20分。そして、後の1時間あまりは職場の要求や取り組みの相談です。

2つ目に大切にしてきたことは、法人との団体交渉です。団体交渉は職場要求書に基づきこれまでに3回行い、その結果、就業規則の全職員への周知徹底、休憩時間確保や時間外手当支給での改善などの前進が見られました。それらを分会ニュースにして全職員に配布する中で、組合の認知が進み、信頼も少しずつ深まってきました。

を実施し、またハラスメント通報の窓口を設置するなどの改善を行っています。

4つ目は、組合に入っていない職員にも分会会議への参加を呼びかけ、これまで5人が参加をしてくれ、その中から2人が加入してくれました。今、分会員は10名に増えました。

分会は、法人に対して言うべきことはきちんと言う、同時に法人との間お互いに職場の課題を共有し、解決へ共同していくというスタンスで取り組んでいます。

分會結成以來大切にしてきたことが4つあります。

1つ目は、分會會議を毎月1回、2時間は確保して必ず開いてきたことです。はじめ30分は近況や職場のことなどの3分間スピーチ、次に京都地本の澤井書

しようと取り組んだことで、す。ある分會員からパウハラの訴えが出されたとき、分會會議で本人から詳しくその内容を聞き、すぐに法人に懇談の場を要求して法人の認識を問いました。その後、法人は全員対象のハ

も、制度改善を求める声を強めていく必要があると痛感した▼年金問題は「難しそうだから」と距離を置いてはいけないテーマでもある。知らなければ奪われ、声を上げなければ何も変わらない。だからこそ組合として、学習の場を広げ、政策の動きを監視し、働く仲間とともに行動し続けることが欠かせない。こうした積み重ねこそが、全ての世代の未来を守る確かな力になると強く感じた。

(K・K)

$$\begin{pmatrix} K \\ \bullet \\ K \end{pmatrix}$$


市立病院の交渉の様子（11月26日）



最低賃金改定1122円  
府内一斉宣伝

11月21日に京都府最低賃金が改定され、府内一斉宣伝を11月12日から12月5日にかけて、府内24カ所111名で実施しました。例年発効日は10月1日ですが、今年の改定は、2カ月近くの違いとなりました。

地域や駅前での行動を通じて、多くの労働者や事業者者に最低賃金改定額1,222円の情報を直接届ける取り組みとなりました。

TUBUYAKI

先日、年金学習会に参加し、これまで「年金は老後の話で、現役の自分にはまだ関係がない」と思っていた認

識が大きく変わった▼学  
んでみると、年金制度は  
高齢者だけでなく、むし  
ろ「若者の人生」に深く  
結びついている重大な問  
題だと分かった。特に、

官民総がかり京都府庁門前宣伝

府庁朝宣伝



## 自治体非正規 STOP雇止め！

京都総評は23秋闘から、民間賃金と公務員賃金の賃上げサイクルの実現をめざし、「上げよう公務員賃金 官民総がかり行動」チームを立ち上げ、京都府などの確定闘争への支援に取り組んできました。

京都府に対しては、10月2日と11月28日に京都府庁のすべての門でヒラを配布し、東門と正門では弁士を立てて早朝宣伝を行いました。賃上げに加え、時間外労働手当の適正な支給と労

働時間管理、会計年度任用職員の公募の廃止、教員の増員と処遇改善などについて、官民の立場から訴えを行いました。

11月28日の宣伝では、全労連の非正規公務員労働相談ホットラインの案内にも力点を置き、京都府会計年度任用職員の「STOP雇止め」「3年公募」廃止ですが、公務の場合は3～5年目で事実上の雇止めと公募が行われるのが現状です。このような制度は廃止すべきです。

## 公募廃止めぎして 門前宣伝・ホットライン実施

オンライン  
電話相談



非正規公務員ホットライン

京都総評は、ホットライン以降も京都府労働相談センターで非正規公務員の労働相談を受け付けています。お気軽にフリーダイヤル0120-378-060（平日10時～18時）までご相談ください。

# 26京都春闘討論集会



京都春闘討論集会（12月6日）

## 対話と学びあい実践する春闘に ユニオンパワー ゆにはで賃上げ！

26京都春闘共闘会議発足総会、26京都春闘討論集会を12月6日にラポール京都で開催しました。討論集会は、全労連の黒澤幸一事務局長が「26国

民春闘と『対話と学びあい』の実践をつくるために』をテーマに講演。対話と学びあいの実践講座として、グループ討論を交えながら深めました。全労連が提唱する対話と学びあい。『対話』とは単なるおしゃべりではなく、対象者との認識の深め合いであり、要求実現の実践そのものであること、説得ではなく、よく聞き、価値観を共有しながら、問題の解決の糸口を見出し実践に結ぶこととされ、こうした対話を日常活動となるようにしようというもの。『学

びあい』は、主体性を奪われている労働者の現状から、抑圧の意識化、その背景にある社会構造を知り、主体性を取り戻し、課題解決の行動をつくりだす活動です。

労働組合の力の源泉は組合員であり、対話と学びあいによって、組合員の自覚的・主体的な参加による強い組織の構築をめざそうとするものです。

26春闘では、全労連が提起する①『対話と学びあい』を組織文化にすること、②要求の求心力で仲間をふやすことを実践ターゲットしましょう。

し、春闘勝利をめざします。講演は、その手掛かりとして、団結とは何か、職場の労働者のマッピングなどを学びました。



海藤さん

## 基礎学習を通じてジェンダー 平等を考える機会に

化学一般 ジェンダー学習会



11月29日（土）にラポール京都にて開催した化学一般労連・中央委員会にてジェンダー学習会を行いました。

講師に京都総評の海藤巳希子副議長をお招きし、各地方本部の代表者27（うち女性2人）が「ジェンダー平等って？」をテーマに講演を受けました。限られた時間ではありましたが、質疑・応答では、女性参加者からの発言もあり、職場での産休・育休、そして復職の実情などについて意見交換をすることもできました。

会議の後の食事会の場で、学習会の内容について盛り上がっているテーブルもありました。

化学一般は組合員の構成が圧倒的に男性中心であり、今回の「ジェンダー平等」の基礎的な事項を学んだ学習会が、ジェンダー平等を意識したり考えたりするきっかけになればと思っています。

ご多忙にもかかわらず、講師を引き受けてくださった海藤さん、ありがとうございました。（化学一般 福水隆）

## 「手作り麺」で健康に

京都総評女性部長 竹中 尚子



推し活というほどのものではないけれど、健康のために、「野菜中心の食生活を！」と「塩分控えめで！」という思いでちょっと手を出してみたのが、

塩麺は最近どこのスーパーでも売っているが、ちょっと一手間かけて（といっても超簡単ですが）玉ねぎを塩切（塩でもむ）して、すりおろした玉ねぎを入れて10日

も美味しいです。しょうゆ麺（薄口しょうゆを麺に入れて10日おくだけ）はドレッシングがわりにして、おいしく頂いています。

ほとんど常温で置くだけ。お湯に入れたらコンソメスープとよく似た味です。端切れ野菜を少し煮て、麺を入れて出来上がり。とって

## あなたの「推し」教えて！

趣味やマイブーム、推し活の紹介をしていただける方を募集します。名前・所属と合わせて、画像、タイトル、100～200字程度であなたの推し活をアピールしてください。掲載された方には図書カードを贈呈します。メールはこちらまで▲

